

第 11 期学術分科会の各部会等の検討状況について

○研究環境基盤部会

- 大学共同利用機関法人及び総合研究大学院大学による「連合体」（大学共同利用研究教育アライアンス）の検討状況について審議を行った。3月に立ち上げられた同アライアンスについては、今後も取り組み状況を聴取し、審議を行う予定。
- 国立大学の共同利用・共同研究拠点について、作業部会において、第3期中期目標期間における期末評価及び第4期中期目標期間における認定に係る審議を行い、昨年10月に結果を公表した。
- 公私立大学の共同利用・共同研究拠点について、専門委員会において、既存拠点の中間評価及び期末評価を行うとともに、令和4年度からの認定に係る審議を行い、4月に結果を公表した。
- 学術研究の大型プロジェクトについて、「大規模学術フロンティア促進事業のマネジメント」に基づき、「すばる」「SINET」の年次計画終了に伴う評価、さらには今後の計画推進に向けての評価を行った。
- 国立大学法人運営費交付金（学術研究関係）について、作業部会において、配分等に係る審議を行った。

○研究費部会

- 科研費制度の改善に向けた検討を進めており、今期は特に国際共同研究及び若手研究者支援の改善・充実、基盤研究のあり方についての審議を継続中。

○科学研究費補助金審査部会

- 令和5年度科研費の公募（令和4年度実施）から適用する「審査区分表」について検討を行い、令和4年3月9日の審査部会において「科学研究費助成事業「審査区分表」の改正等について」（別添）を決定。

○人文学・社会科学特別委員会

- 第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえ、人文学・社会科学に関連する指標の検討を開始した。これまでに2回審議を行い、有識者等から人文学・社会科学における研究評価の課題等についてヒアリングを実施。今後も引き続きヒアリング等を実施。